

『IT化といじめ問題』

朗読者 尾木直樹

9 今日「IT」といじめ」について一緒に考えてみたいと思います。

「ドラえもん」見てますか？

10 のび太をいつもいじめるジャイアン。かつては、いじめっ子というジャイアンのようないわゆる「ガキ大将」のイメージが強かったのではないかしら。でも、今のいじめはもっと複雑化し、見えにくくなってきています。今、社会で問題になっている「IT」を使いたいじめはどうか。

15 メールやラインなど SNS・ソーシャルネットワークを通じて、子どもたちは二十四時間、切れ間なくつながっています。その中で、ネットいじめが急速に広がっているのね。

20 内閣府の調査によると、スマートフォンを利用している小学生の約半数、中学生の約八割、高校生の約九割が、スマートフォンをコミュニケーションツールとして日常的に使っていると答えているの。スマホが子どもたちのライフラインになっている現実があります。そんな中で、ネットいじめを止めるためにどうすればいいのかしら。

二〇一三年、一人の少女がこんなことを考えました。

スマホの画面に他人を傷つけるような文章を入力して、ポチッと投稿しようとする、「他人を不快にする文章を送る前に、もう一度考え直してみない？」といったメッセージが表れます。アメリカ・シカゴに住む十七歳の高校生、トリーシャ・プラフさんが開発したスマホ向けアプリ「Re Think」です。

トリーシャさんがこのアプリを思いついたのは十三歳の時のこと。当時十一歳の女の子がネットいじめを苦に自殺したことがきっかけでした。同じ十代の少女の思いが、いじめストップのアプリにつながったのね。日本のジュニア向けスマートフォンにも、同様のアプリが搭載されているものが出てきています。

インターネット自体が悪いわけではなく、要は使い方次第。SNSでのやりとりやメッセージが原因で起きるトラブルは年々増えています。子どもたちだけではなく、私たち大人も、メッセージを送る前に、ちょっと立ち止まって考えてみる。そんな習慣を身につけることが大切ね。

ドラえもんポケットから出てくる不思議な道具たち。その中にいじめストップアプリがあったらいいなあ。